

# 令和3年度「学校評価結果報告書」

当園ではこの度、令和3年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。  
きちんとした価値観やモラルを心身に身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育するうえでは、「徳育、知育、体育、国際化（英語教室）」の4つの理念を大切に、その中で息づく「こころ」を育てる教育を実践しております。

きちんとしたモラルの心を身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていこう、教諭、講師、職員の力をあわせ、お子様たちの保育をすすめてまいります。

## II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 教職員間の連携強化
- 安全管理体制の充実
- 園全体の発展

## III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み内容	
1	教職員の資質向上	子どもにとってよりよい教育のためにどのような取組みをしましたか？	B 研修への参加機会が多く、園で活用できそうなことを学ぶことができ、実際に保育の場で実践し、学んだことをほかの職員に共有することで園全体の保育の質向上に繋げることができている。一人ひとりに合わせた保育を実施し、子どもの様子などを職員間で共有し、共通理解を持つことができている。
2	教職員間の連携強化	会議や終礼等の情報共有によってどのような取組みをしましたか？	B 共有ノートを作り、各学年間で情報を共有することで伝達不足を無くすことができている。朝礼・終礼の欠席者に対し連絡ノートで共有を行い、不明な点はその都度聞くようにし確認を怠らないようにしている。

# 令和3年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
3	安全管理体制の充実	子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	B 雨が降った翌日は遊具の確認や砂場に異物がないか目視で確認をし安全確保ができてから遊びを行っている。避難訓練を行った後には正しい動きができていたのかなどを職員間で意見を出し合い、より安全に避難ができるようにしている。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。	B この1年で成長したという意見があり、嬉しく感じた。成長したことなどを記入してくれている保護者が比較的多く、意欲が高まった。比較的良好な評価を頂いており、評価を頂いたところは続けていくと共に、頂いた改善点は受け止め、園全体で積極的に取り組んでいきたい。職員全体でアンケート結果を共有することで共通認識を持つことができている。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

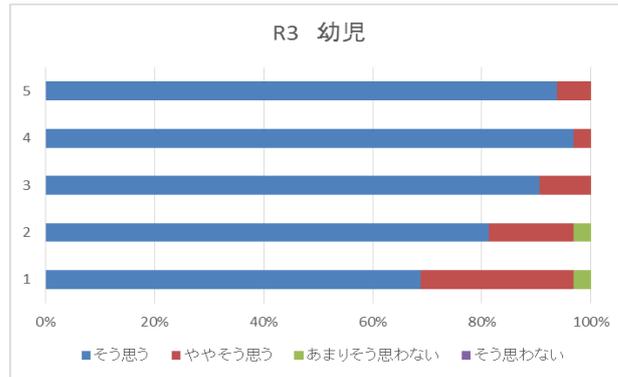
1	教職員の資質向上	より良い教育のために何がうまくいき、何がうまくいっていないかを確認し保育を進めていけるようチームごとに話し合いを重ね、工夫できるようにしていきたい。日々の活動内容を工夫し子どもたちが園生活を楽しいと思えるよう様々な取り組みを行っていきたい。
2	教職員間の連携強化	伝達事項の共有漏れがないようにホワイトボード等を活用し、全職員が確認するよう取り組んでいきたい。伝えたことがきちんと伝わっているかどうか確認するために復唱するなど工夫していきたい。
3	安全管理体制の充実	新入職員でも避難の仕方が分かるよう避難マニュアルを作成し配布・共有していきたい。避難通路の確保の為に職員間で玩具の置き場所確認を徹底していきたい。
4	園全体の発展	挨拶や話を聞く姿勢など基本的なことをより子どもたちが徹底できるよう職員が手本となり示していきたい。子どもの様子に変化があるときには直接、親御さんに様子を確認することでより安心して預けて頂ける園していきたい。

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

<幼児クラス>

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、園に当園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、クラスの先生に親しみを持っていますか？	お子さんは、園生活で成長していると感じますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？

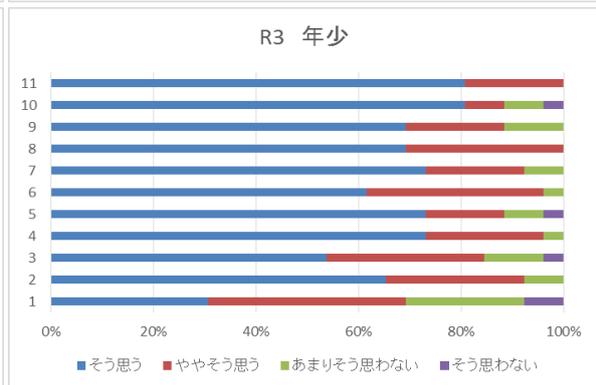
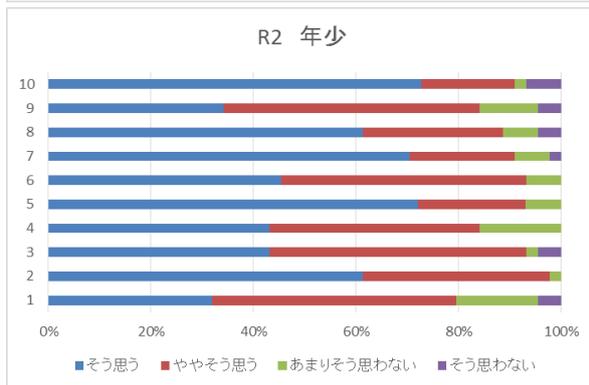
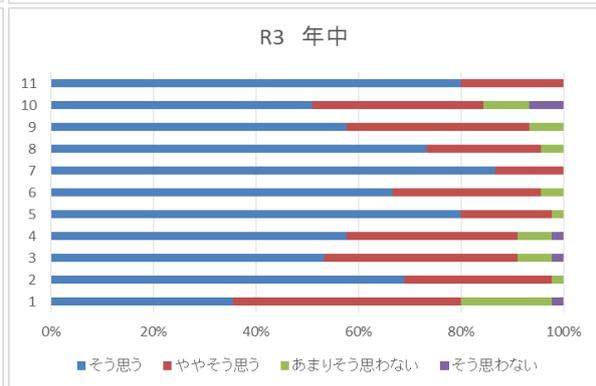
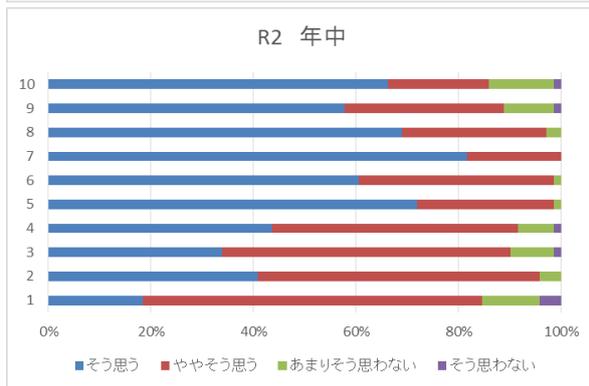
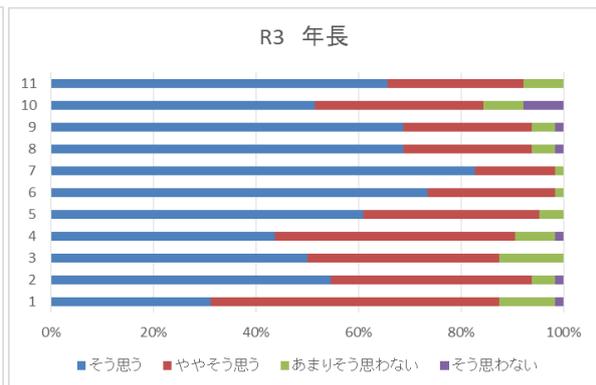
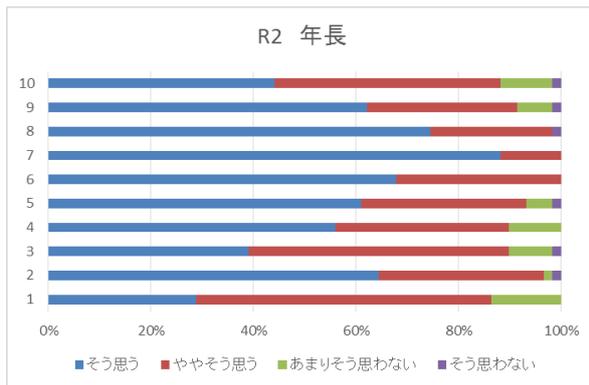


# 令和3年度「学校評価結果報告書」

## <年少・年中・年長クラス>

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうとする姿勢が見られますか？

質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、園に当園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動を通じて、体が丈夫なと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



## ■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

<幼児クラス>

◇項目1

まだまだお母さんが恋しい年代にもかかわらず登園を楽しみにしていることもが殆どという結果は嬉しく思います。子ども達が次の日の登園を楽しみにしてくれるように取り組みます。

◇項目2

感受性については発達途中の部分もあると思うので、園での経験や体験の中で育むように取り組みます。

◇項目3

園では、担任やかかわる職員が保護者の役割りと考えて保育しています。その中で先生に親しみを持って頂けている良い結果にうれしく思います。これからも親しみを持っていただける保育を続けます。

◇項目4

ほとんどの方が、お子様の成長を感じて頂けていることは、うれしく私たちの励みにもなります。これからも一人ひとりに寄り添う保育で成長を感じて頂ける保育を行います。

◇項目5

今年度から子ども園に移行し自園給食が始まり「食」にも力入れさせて頂く中でうれしい結果が出ています。栄養価を考えお子様が楽しく美味しく食事して頂ける献立を考えていきます。

<年少・年中・年長クラス>

◇項目1

挨拶は、「自分から」というところで学年の評価が変わってきているのかなと思います。園では挨拶ができていても家庭では恥ずかしさが出てしまうので成長と共にいつでもどこでも挨拶が出来るように取り組みます。

◇項目2

どの学年でも良い結果が出ています。子どもにしか感じられないような表現や思いが表れていると思います。感受性が一番育ちやすい年代だと思しますのでいろんな経験を通して更に感受性が育つように見守っていきます。

◇項目3

話を聞くこと、目を見て聞くことは年少より年中、年中より年長と年代が上がることで結果が出ています。園での習慣として取り組めているので家庭でも習慣づくように連携していくようにします。

◇項目4

全体的に良い結果が出てうれしく思います。園でもお当番活動やお手伝いを通して役立つ喜びや楽しさやりがいを実感したことで家庭でも自然とお手伝いができているのだと思います。褒められ、認められる喜びを実感出来る様にし、家庭でのお手伝いへとつなげられるようにします。

◇項目5

絵本の貸出しを通して持ち帰る絵本をしっかり読み聞かせて頂いている保護者の皆様のご協力の賜物だと感謝致します。絵本を通して字を覚えたり想像力を育んだりできるので、園にあるたくさん絵本を活用していただくようにします。

◇項目6

全学年で良い結果が出てうれしく思います。集団生活の中でルールを守る大切さが身についています。子どもたち自身がルールを理解し規律を守る大切さをより知ってもらえるよう丁寧に取り組むようにします。

◇項目7

全学年で良い結果が出ています。体育講師と連携を密にし、体育を通しての体力づくりや一輪車や鉄棒、跳び箱、なわとびなど目標に向かって取り組みました。体育活動を通して競争心や協力すること、そして達成感を十分味わえるように取り組みます。

◇項目8

全学年登園を楽しみにしてくれている結果にうれしく思います。新型コロナウイルス感染が収まらない中、園での活動にも制限が強いられ出来る範囲で保育や行事を行ってきました。それも保護者の皆様のご協力とご理解があって、無事終える事が出来ました。これからも子ども達が楽しみに出来ることを出来る限り取り入れるようにします。

◇項目9

体育活動では、サーキットを通して走る、上る、ぶら下がる、跳ぶなどの基本的な動きを楽しみながら指導を受けています。子どもたちにとって楽しみながら体力づくりができていると考えます。

◇項目10

どの学年も去年より興味が下がっているのが気になります。歌やゲームを取り入れて楽しみながら学べるカリキュラムを工夫していますが、もっと興味を持ってもらえるように室内だけでなく、散歩や戸外での活動も取り入れながら指導を工夫します。

◇項目11

年長、年中、年少共に高く評価されていてうれしく思います。今年度より自園給食が始まり、今までにない献立があり、おやつも充実しているところが評価されてると思います。また、どの学年も食育で栄養の知識を教えていただいたり野菜の皮むきや食事づくりを経験し「食」に興味を持って頂けたと思います。これからも「食」に興味を持ち、栄養価を考え献立を美味しく、楽しく食べてもらえるようにしていきます。

## VI. 学校関係者の評価

子ども達が園で楽しく過ごせるように、先生方が協力し合って様々な工夫をしてくださりとても感謝しています。「食」に興味を持つことは、将来的にもとても大切だと思うので、これからも食育に力を入れて欲しいです。日々の体操指導で先生方から積極的に質問や運動会等で取り組む内容を相談してもらっています。特に運動会の内容では、子どもたちの好きなことや苦手なこと、頑張っているところなど子どもの普段からよく見て、課題を発見し、運動会の内容を決めています。子ども達に寄り添って保育をしているからこそできることだと思っています。各学年の先生方同士で話し合い連携も取れていると思います。そのため、質の高い保育をされているなと感じています。

以上